

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
研究番号	2018-0050-1	利用するもの	試料:なし 情報:全ゲノム情報、調査票情報、検査情報		
主たる研究機関	協和キリン株式会社(2019年7月1日に協和発酵キリン株式会社から商号変更。)		分担研究機関	なし	
研究題目	東北メディカルメガバンク機構の情報分譲制度を利用した腎疾患における創薬標的探索		研究期間	2019年 7月 1日 ~ 2024年 3月 31日	
実施責任者	宮澤達也	所属	協和キリン株式会社	職位	主任研究員
研究目的と意義	腎疾患はアンメットニーズの高い疾患であり、特に末期腎不全による透析治療は社会的な課題にもなっている。有用な腎疾患治療薬は健康長寿社会の実現に重要であり、社会的意義も高いと考えられることから、本情報を用いた創薬研究を行うことを目的とする。				
研究計画概要	腎疾患における創薬標的探索を目的として、腎疾患の重症度を規定するために必要な、血液・尿測定情報および腎疾患の推定に利用可能な調査票情報の分譲を受け、この情報を用いてコホートの群分けを行う。併せてコホートの全ゲノム情報(全てのゲノム多型情報)の分譲を受け、群分けしたコホートと相関のある多型情報をゲノムワイド多型解析等により見出す。				
期待される成果	腎疾患の治療薬の開発				
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	協和キリン株式会社研究倫理審査委員会にて2019年4月19日に承認 2022年2月2日に研究期間の延長について承認 2022年12月9日に研究責任者の変更について承認 2023年2月15日に研究期間の延長、研究分担者の変更について承認				
倫理面、セキュリティー面への配慮	協和キリン株式会社研究員は、製薬協ビル内のセキュリティーブースもしくは東北メディカルメガバンク内の専用端末からの情報にアクセスし、統計解析済で個人のデータには戻れないよう形に加工してから解析結果のみを持ち出す(個人のデータは持ちださない)。				
その他特記事項					
(事務局使用欄)					